

2, 3号機原子炉格納容器ガス管理設備の 配管部材, 機器ユニット固定方式変更に伴う 実施計画の変更について

平成26年 8月12日

東京電力株式会社



無断複製・転載禁止 東京電力株式会社

1. 実施概要

福島第一原子力発電所 2, 3号機原子炉格納容器ガス管理設備（以下、PCVガス管理設備）について、信頼性向上を目的とした以下の改造工事を実施する。

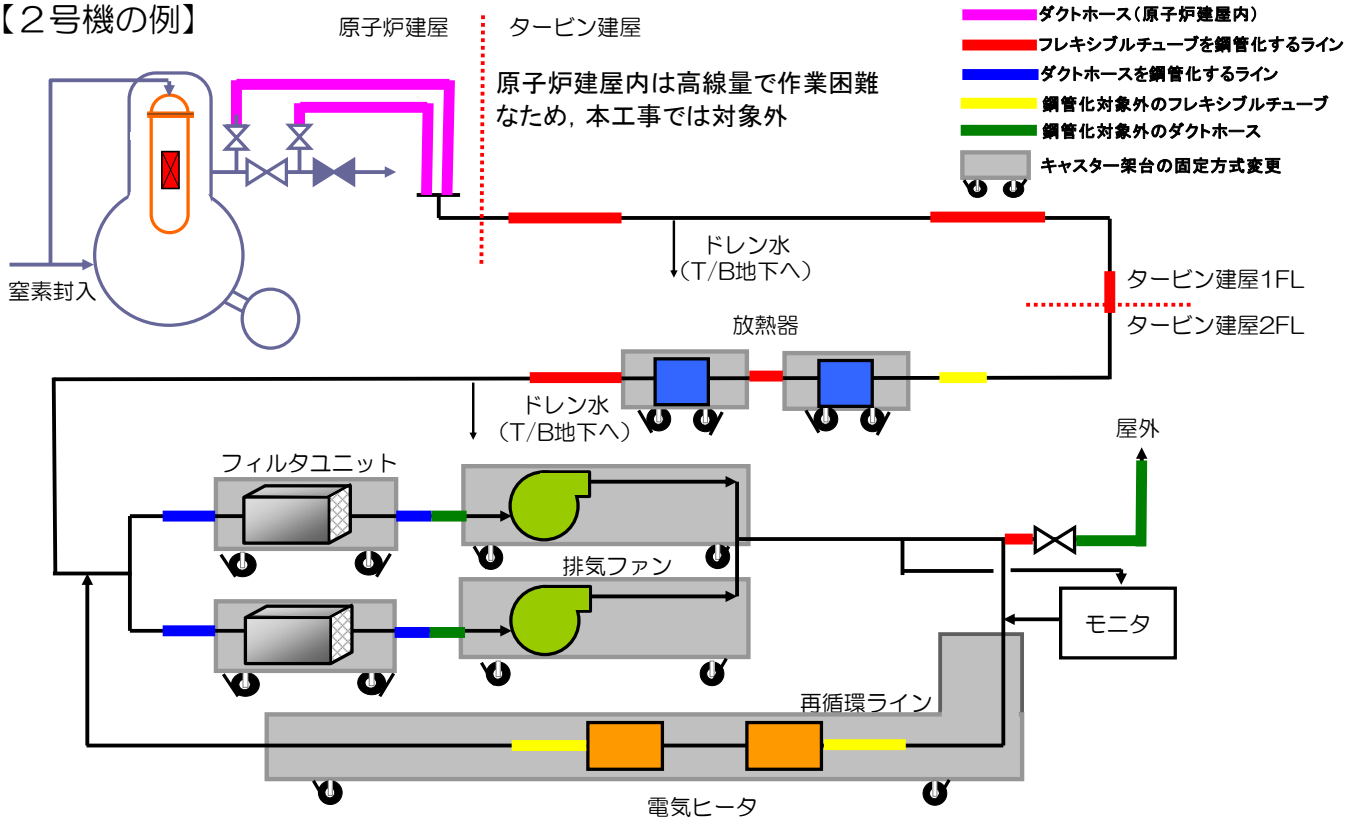
- ① 主配管のうち、タービン建屋内のフレキシブルチューブ及びダクトホースの一部を鋼管に交換。
- ② 主要機器ユニット固定方式を、キャスター・車輪止め方式から支持鋼材・アンカー方式に変更。

<実施理由>

- ① 2, 3号機PCVガス管理設備については、設置時間の短縮を図るため、フレキシブルチューブ及びダクトホースを一部使用している。今後の長期的な運転継続に備え、地震や衝突によるフレキシブルチューブ又はホースの破損リスク、ダクトホースの経年劣化に伴う亀裂発生による当該設備からの漏えいリスクを低減するため、鋼管化を実施する。
- ② 2, 3号機PCVガス管理設備については、設置時間の短縮を図るため、構成機器を架台ユニット毎に分割し、ユニット付きのキャスターで運搬後、車輪止めを設置し床面と固定している。今後の長期的な運転継続に備え、設置方式として一般的で信頼性の高い支持鋼材・アンカー方式に変更する。

2. 工事実施箇所概要図

【2号機の例】



3. スケジュール

年度	平成26年度									
月	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
2, 3号機PCVガス 管理設備の配管部材, 機器ユニット固定方 式変更工事		申請								

(参考) 設備の現状と対応方針

現状

フレキシブル
チューブ



ダクトホース

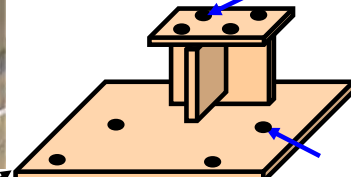


一部鋼管化することにより、破損リスク・経年劣化に伴う漏えいリスクの低減を行う。

ユニット付
キャスター・
車輪止め方式



ボルト穴 (ユニット架台と締結)



一般的な支持構造へ

アンカー打設孔
(床面と固定)

長期的な運転継続に備え、一般的で信頼性の高い支持鋼材・アンカー方式に変更を行う。

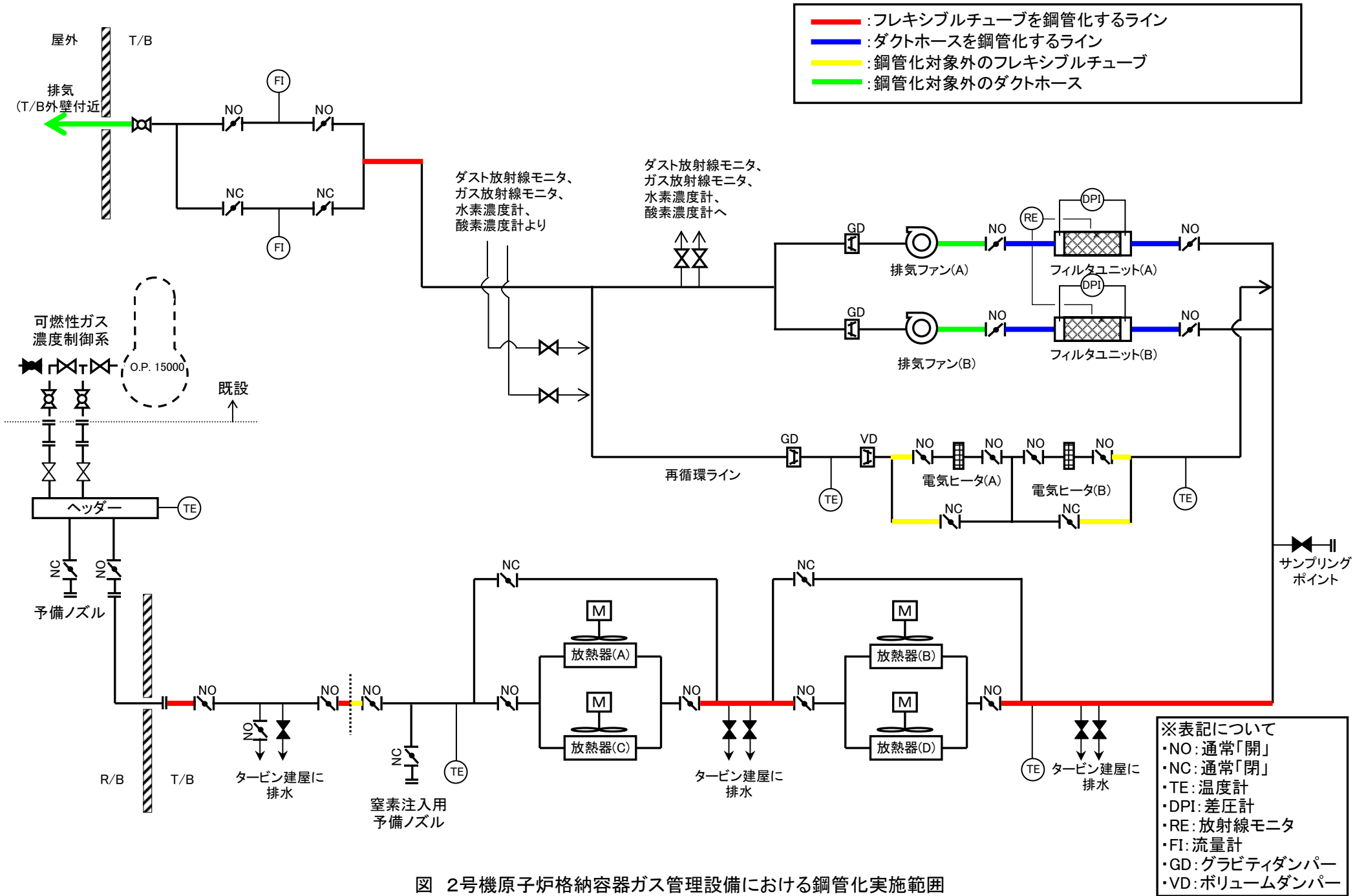


図 2号機原子炉格納容器ガス管理設備における鋼管化実施範囲

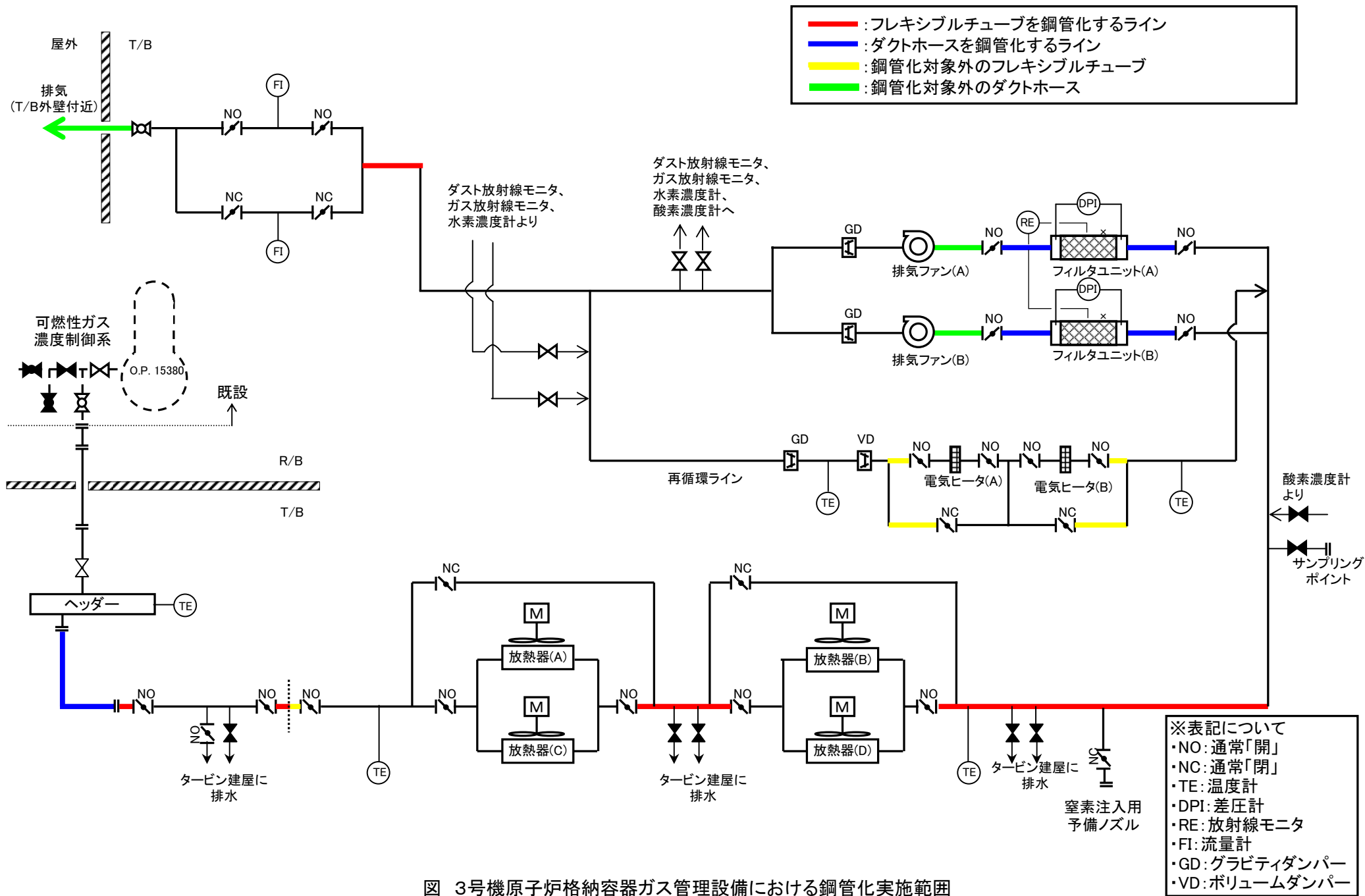


図 3号機原子炉格納容器ガス管理設備における鋼管化実施範囲